



# 貧困による教育格差をなくすために

三宅和広 議員

現在、子どもものの貧困率は16・3割、6人に1人が貧困状態にある。貧困は親子間で引き継がれる割合が高く、貧困の世代間連鎖を断ち切るためには、貧困による教育の格差をなくさなければならぬ。貧困の連鎖を断ち切ることは将来に向けた投資になる。学習習慣を身につけ基礎学力を向上させるために、学習塾講師や退職教員、大学生を講師として、小・中学生、高校生を対象にした学習教室を市内各所で開講してはどうか。教育長の考えを伺いたい。

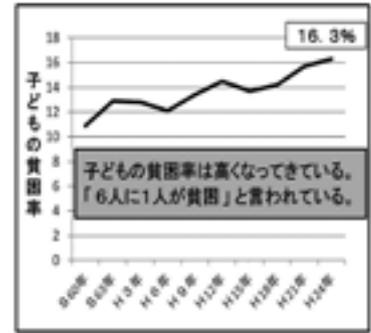
**水戸部教育長** 日新製菓教育振興基金を活用した、活力ある学校づくり推進事業の一つとして、地域の協力により本市の教育を一層推進する地域人材活用による学力向上事業を来年度から試行し、実証的検証を行いたいと考えている。学力を向上させるためには学

習習慣を身につけることが大切である。この学力向上事業に限らず様々な面で子どもたちの学習習慣を育てていきたい。

## 若者の地元就職を促すために

若者に天童市が期待しているということを理解してもらうために、経済状況が厳しい家庭の生徒に給付型の奨学金を支給したり、大学卒業後に天童に住み就職した者に対して、奨学金返還のための給付金を支給するような制度を作ってはどうか。地元企業に就職する若者が増え人口減少問題の解決の一助になると思いますが、教育長の考えを伺いたい。

**水戸部教育長** 来年度から、県と市町村等が連携して基金を設置して大学生等を支援する制度がスタートする予定である。この制度を活用し、本市への若者の就職・定着促進を図りたいと考えている。



▲平成25年国民生活基礎調査を基に作成